



## はじめに

---

Cisco Unified Communications オペレーティング システムでは、多くの一般的なシステム管理機能を実行できます。

この章は、次の内容で構成されています。

- [概要](#)
- [ブラウザ要件](#)
- [オペレーティング システムのステータスと設定](#)
- [セキュリティ設定](#)
- [ソフトウェア アップグレード](#)
- [サービス](#)
- [コマンドライン インターフェイス](#)

## 概要

Cisco Unified Communications オペレーティング システムの管理では、次の作業を実行することにより、Cisco Unified Communications オペレーティング システム を設定および管理できます。

- ソフトウェアとハードウェアのステータス チェック
- IP アドレスのチェックと更新
- 他のネットワーク デバイスへの Ping
- NTP サーバの管理
- システム ソフトウェアとオプションのアップグレード
- システムの再起動

次の項では、オペレーティング システムの各機能について詳細に説明します。

## ブラウザ要件

Cisco Unified Presence の管理ページ、Cisco Unified Serviceability のページ、Cisco Unified OS の管理ページ、Disaster Recovery System のページにアクセスするには、次のブラウザを使用します。

- Microsoft Internet Explorer バージョン 6.x
- Netscape Navigator バージョン 7.1 以上



(注)

---

シスコは、上記以外のブラウザ（Mozilla Firefox など）のサポートやテストは行っていません。

---

## オペレーティング システムのステータスと設定

[表示] メニューでは、次に示すさまざまなオペレーティング システム コンポーネントのステータスをチェックできます。

- クラスタとノード
- ハードウェア
- ネットワーク
- インストールされているソフトウェアとオプション
- システム

詳細については、[第 3 章「プラットフォームのステータスと設定」](#)を参照してください。

## 設定

[設定] メニューでは、次のオペレーティング システム設定の表示と更新ができます。

- IP:IP アドレスと、アプリケーションのインストール時に入力された Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) クライアントの設定を更新します。
- NTP サーバ設定：外部 NTP サーバの IP アドレスを設定し、NTP サーバの追加や削除を行います。
- SMTP: オペレーティング システムがメール通知の送信に使用する SMTP ホストを設定します。

詳細については、[第4章「設定」](#)を参照してください。

[設定] > [時間] ウィンドウで、サーバの時間を手動で設定できます。詳細については、[第4章「設定」](#)を参照してください。

[設定] > [バージョン] ウィンドウでは、次のようなシステムの再起動またはシャットダウンのオプションを選択できます。

- バージョンの切り替え：アクティブなディスク パーティションとアクティブでないディスク パーティションを切り替え、システムを再起動します。通常このオプションは、アクティブでないパーティションを更新した後、新しいソフトウェア バージョンを実行する場合に選択します。
- 再起動：パーティションを切り替えずに、システムを再起動します。
- シャットダウン：実行中のすべてのソフトウェアを停止し、サーバをシャットダウンします。



(注) このコマンドを実行しても、サーバの電源は切れません。サーバの電源を切るには、電源ボタンを押します。

詳細については、[第5章「システムの再起動」](#)を参照してください。

## セキュリティ設定

オペレーティング システムのセキュリティ オプションを使用すると、セキュリティ証明書と Secure Internet Protocol (IPSec) を管理できます。[セキュリティ] メニューでは、次のセキュリティ オプションを選択できます。

- 証明書の管理：証明書、証明書信頼リスト (CTL) および証明書署名要求 (CSR) を管理します。証明書の表示、アップロード、ダウンロード、削除、および再作成ができます。
- 証明書モニタ：サーバ上の証明書の有効期限日を監視できます。
- IPSEC 設定：既存の IPSEC ポリシーの表示または更新、新規の IPSEC ポリシーとアソシエーションの設定を行います。

詳細については、[第6章「セキュリティ」](#)を参照してください。

## ソフトウェアアップグレード

ソフトウェアアップグレードオプションを使用すると、オペレーティングシステムで実行されているソフトウェアバージョンをアップグレードしたり、特定のソフトウェアオプション（Cisco Unified Communications ロケール インストーラ、ダイヤルプラン、TFTP サーバファイルなど）をインストールしたりできます。

[インストール / アップグレード] メニュー オプションでは、ローカル ディスクまたはリモートサーバからシステム ソフトウェアをアップグレードできます。アップグレードされたソフトウェアはアクティブでないパーティションにインストールされ、アップグレード後にシステムを再起動してパーティションを切り替えると、新しいソフトウェアバージョンの実行が開始されます。

[TFTP ファイル管理] メニュー オプションでは、電話機で使用できるように、ファイルを TFTP サーバにアップロードできます。



(注)

Cisco Unified Presence 6.0(1) では、[ソフトウェアアップグレード] メニュー オプションを使用してソフトウェアのインストールおよびアップグレードを実行できます。またコマンドラインインターフェイスを使用してアップグレードを実行することもできます。システムでアップロードと処理が可能なソフトウェアは、シスコが承認したものに限られます。

詳細については、[第7章「ソフトウェアアップグレード」](#) および [P.A-58 の「utils system upgrade」](#) を参照してください。

## サービス

このアプリケーションには、次のオペレーティングシステムユーティリティが搭載されています。

- Ping : 他のネットワーク デバイスとの接続をチェックします。
- リモートサポート : シスコのサポート担当者がシステムへのアクセスに使用できるアカウントを設定します。このアカウントは、指定された日数が経過すると、自動的に失効します。

詳細については、[第8章「サービス」](#) を参照してください。

## コマンドライン インターフェイス

コマンドライン インターフェイスは、コンソールからアクセスするかサーバへのセキュア シェル接続を介してアクセスしますが、オペレーティングシステム ユーザ インターフェイスを介して使用可能なオペレーティングシステム機能のサブセットを提供します。コマンドライン インターフェイスはシステムの緊急事態用に設計されたものであり、ユーザ インターフェイスの代用ではないことに注意してください。

詳細については、[付録 A「コマンドライン インターフェイス」](#) を参照してください。